

(4) 大都市東京の発展を支える産業を重点的に育成する

【東京のこれまでの歩みと到達点】

- 東京は、産業を支える高度なポテンシャルを有しており、特に、大学や研究機関等の先端的な研究開発や、高い水準を誇る基盤技術は日本の技術力を支えてきた。
- 国際競争が激化し、高齢化や環境問題といった社会的課題が深刻になるなか、国家戦略として先端的な研究開発の促進とクリエイティブ産業の育成を図る世界の潮流も踏まえた、東京の新たな産業の振興が求められている。



【10年後の東京の姿】

- 東京の将来を支える都市型産業(「創造的都市型産業」)が飛躍的に成長し、新産業分野・新事業の創出などの波及効果により、日本経済を牽引している。

【現状と10年後に向けた課題】

- 東京は、長年にわたって集中的な開発投資が行われ、世界にも類を見ない高度に発達した都市機能を形成し、様々なポテンシャルを有している。

＜東京に集積する多様なポテンシャルの例＞

- ・ 企業、大学、研究機関の集積
- ・ 巨大かつ高感度な消費市場
- ・ 巨大な資本市場
- ・ 優秀な人材の集積
- ・ 文化、情報の発信源
- ・ 豊かな国際性

事項	全国構成比
(1)資本金10億円以上の大企業数	47.4%
(2)商品販売額	32.8%
(3)株式売買高	97.4%
(4)大学院学生数	26.4%
(5)映像・音声・文字情報制作事業所数	46.3%
(6)外資系企業の立地数	64.1%

(備考) (1)(2)(5)(6)は2004年 (3)(4)は2005年度
(出典)「東京の産業と雇用就労2006」(2006年8月 産業労働局)

特に、東京に集積する企業や大学、研究機関等における先端的な研究開発や中小企業の基盤技術など確かなものづくりの基盤は、これまでの日本の成長をリードしてきた。

また、今後、圏央道の全線開通、羽田空港の国際化、横田飛行場の軍民共用化など、東京圏の都市機能は飛躍的に向上していく。

- 国際競争のさらなる激化が予想されるなか、世界に通用する新技術・新製品の研究開発力が、これまで以上に重要になる。都は、これまでも、日本をリードする産業施策を展開し、ベンチャー企業の育成に努めるとともに、ナノテクノロジーセンターの開設など、中小企業の研究開発力の強化に取り組んできた。今後も、東京のポテンシャルを活かし、先端的で付加価値の高い研究開発及び試作を担う機能をより一層強化・充実させていくことが必要である。

- 一方、消費生活に個性や文化的要素を求める傾向の強まりや、社会における情報化の急激な進展により、アイデアや発想力を重視した、クリエイティブ産業の重要性が増しつつあり、世界各国で振興策が展開されている。
都においても、大きな成長が見込まれ、観光等への波及効果が期待できるアニメ産業振興のため、東京国際アニメフェアを開催するなどの取組を進めてきた。
- また、高齢化の進行や防災・防犯ニーズの高まり、あるいは地球温暖化に代表される環境問題が大きな課題となっており、東京の持つ豊かな産業力を最大限活用し、解決を図っていくことが期待されている。
- 東京のさらなる発展のためには、大都市のポテンシャルを活かした新たな産業の振興が必要である。そのため、世界の先進国において重要な国家戦略となっている、先端的研究開発の促進とクリエイティブ産業の育成に重点を置き、21世紀型の都市型産業を振興していくことが求められている。

【これからの政策展開】

○ 都市機能の向上を踏まえ、東京の持つ豊富なポテンシャルを活かして、東京の将来を支える都市型産業（「創造的都市型産業」）を、重点的かつ戦略的に育成していく。

- ・ 今後の都市機能の向上などを契機として、企業や大学の集積といった東京のポテンシャルを活用した成長が見込まれ、新しい技術や発想により社会的課題の解決や豊かな都市生活を実現する産業を「創造的都市型産業」と位置付け、戦略的・重点的に育成していく。
- ・ 対象となる産業分野の新たなプロジェクトや事業等に対し、資金面、技術面など、事業の段階に応じた支援を、継続的かつ集中的に実施する。
- ・ ベンチャー企業の技術開発や創造性の発揮を促していくため、公的インキュベーション施設を現在の29施設から倍増していく。
- ・ 中小企業の新技術などを発掘し、実用化・事業化・販路開拓を支援していく。

＜創造的都市型産業群＞

社会的課題対応型産業	環境、健康・医療・福祉、危機管理
情報発信型産業	アニメ・コンテンツ、デザイン、ファッション
都市機能活用型産業	情報家電（電子デバイス）、マイクロマシン（MEMS）、航空機（部品）

○ 研究開発や技術革新を通じ、環境問題や高齢社会への対応などの社会的な課題を克服していくため、社会的課題対応型産業を育成していく。

- ・ カーボンマイナス東京10年プロジェクトなどにより、世界で最も環境負荷が少ない環境先進都市を実現するために、再生可能エネルギー、都市緑化や汚

染浄化など、環境分野を育成する（51 頁に関連の記述）。

- ・ 都民の健康増進や疾病予防を推進するため、健康・医療機器、ライフサイエンス、介護・健康サービスなどの健康・医療・福祉分野を育成する。
- ・ オリンピックも視野に入れ、世界一安全な都市を実現していくため、防災・防犯関連など、震災やテロ、治安対策などに資する危機管理分野を育成する（68 頁に関連の記述）。



<廉価な VOC (※6)
処理装置>

(2012 年
実用化目標)

(出典：産業労働局資料)



<脳神経外科手術用
フロアスタンド>

(脳外科手術で使用す
る顕微鏡スタンド)

(実用化済)

(資料提供：三鷹光器 (株))

- ・ 社会的な課題を産業力により解決する仕組みを通じて、ロボット技術をはじめとした新技術、新製品の開発を促進する。
- ・ 大学、研究機関、中小企業等による共同研究を促進し、ナノテクノロジーなどによる基盤技術の高度化を進め、先端的な技術開発を支援する。

○ より豊かな都市生活の実現や外国人旅行者の誘致につなげていくため、アジアをはじめとする世界に情報やトレンドを発信できる情報発信型産業（クリエイティブ産業）を育成していく。

- ・ 国内最大の消費地であり、メディアが集積し、国内外から多様な人材が集まる東京の特性を活かし、アニメ・コンテンツ産業を育成していく。
- ・ 高感度の消費者に鍛えられたデザイン力等を活かし、製品の差別化、高付加価値化を図るため、デザイン、ファッション産業を育成する。
- ・ 首都大学東京のインダストリアルアートコースや産業技術大学院大学を活用するなど、教育機関との連携を図り、創造性の高い人材を育成していく。

○ 三環状道路の開通や羽田空港の国際化など、今後の都市機能の向上を契機に、都市機能活用型産業を育成していく。

- ・ 三環状道路の開通に伴い、多摩地域を中心として、つくばから埼玉県、神奈川県に至る地域において、産業交流が活発化することを契機とし、新事業の創出を図り、多摩シリコンバレーを形成していく。特に、将来の市場成長性が高く国際競争力を確保していく意義の大きい情報家電（電子デバイス）やマイクロマシン（MEMS）などを育成する（42 頁に関連の記述）。

<MEMSデバイス>



(小型デバイス試作機)
(資料提供：NEC)

- ・ 都の産業支援機関等のコーディネートにより、異業種異

分野間の連携や、つくば等も含めた広域でのビジネス交流など、都域を越えた産学公及び産産連携を促進する。

- ・ 羽田空港の国際化や横田基地の軍民共用化も視野に入れ、幅広い波及効果が期待される航空機部品産業などへの都内中小企業の参入を支援する。



(※6) VOC (Volatile Organic Compounds) …塗料や印刷インク等に含まれている、蒸発しやすい有機化合物（トルエンやキシレン等）。使用時に大気中に排出され、光化学反応等により浮遊粒子状物質（SPM）の生成や光化学スモッグ発生の原因となる。